

◆魚津市教育センター検討資料

魚津市教育センターの必要性・役割について

1 役割

- 魚津市全体の教育振興を図る。
 ※ 学校や先生方のニーズに対応した各種研修会や事業を企画し、教員の資質向上や子どもの学力向上に資する。

- ・指導者のための研修会・講演会等の企画・実施
- ・学習指導の研修と指導助言（教育技術の向上）
- ・研究調査及び教材・資料の作成と活用
- ・科学技術の充実
- ・視聴覚教材・教具の研究と活用 など

2 主な事業

(1)研修事業

- ①体験型研修・理科教育講座（自然観察）
 - ・郷土研修会（魚津市探訪）
- ②課題別研修・道徳の授業に関する講演会
 - ・学力向上講演会（H24：算数）
- ③年次研修
 - ・中堅教員研修（40代）
 - ・若手研修（採用2～5年）
- ※他にも、職責に応じた研修や他方面から講師を招いた講演会などを開催している。

(2)生徒指導に関する事業

- ①生徒指導協議会の開催
 - ・各学校の生徒指導主事で組織
 - ・市全体の児童生徒の健全育成を図る。
 - ・啓発パンフレットの発行
- ②学校警察補導連絡協議会との連携
 - ・非行防止のための指導・援助
- ③教育相談活動の推進
 - ・相談電話の設置、相談対応

(3)各種別教育の推進

- ①コンピュータ教育研究会の組織・運営
- ②教育センター協力員による教育振興
 - ・理科教育研究協力員
 - おもしろ科学教室の実施(児童対象)
 - ・特別支援教育研究協力員
 - 特別支援教育ケース会議の開催

(4)調査・研究事業

- ①長期欠席者（不登校）の調査・集計
- ②問題行動等(いじめ・非行)の調査・集計
- ③全国学力・学習状況調査結果等の分析
- ※ 上記の定期調査の他、必要に応じて児童生徒の実態把握のための調査を行い、市全体の集約及び分析をする。

(5)適応指導教室の運営

- ①学校に行けない児童生徒の居場所づくりと社会参加(学校復帰)への意欲を育てる。
 - ・本人への支援や学校との情報交換
- ②問題を抱える子どもをもつ保護者への支援活動
 - ・相談日の開設（月曜日）
 - ・おしゃべりタイムの実施（木曜日）
- ③他の支援機関との連携
 - ・県や近隣市町の適応指導教室との連携（体験活動の共同実施等）

(6)その他の事業

- ①各種行事（市全体で実施）への協力
 - ・市科学展の開催
 - ・県科学展、発明工夫展へのとりまとめ
 - ・童話大会、音楽会等への協力 など
- ②各種資料の収集
 - ・研究紀要、指導案、指導計画、要覧等
- ③広報・サービス
 - ・「魚津の教育」の発行
 - ・教育安全情報のリアルタイム共有システムによる情報発信

3 その他の機能

- (1) 視聴覚ライブラリー ・視聴覚機材、ビデオ・DVD等の購入、管理、貸出業務
- (2) 教科書センター ・小・中・高等学校の検定教科書の展示、閲覧、貸出業務

4 他の関係機関との連携

- 所長は県総合教育センターの派遣教育専門員としての身分も保有し、県総合教育センターの事業との連携に関する業務も担っている。
- 魚津地区教育センター協議会を構成し、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の教育センターが協業事業として研修、講演会を開催したり、情報交換をしながら各市町の事業の推進を図っている。

5 まとめ（教育センターの必要性）

魚津市教育センターが担う役割は多岐にわたり、社会の変化に対応しながら、現代的な視点と学校や教員のニーズを捉えながら事業を進めている。教育全般にわたって企画・運営されるセンター事業は、学校のみならず、幅広く市民にとって必要とされている。このような市全体を見通した活動を進めていくことができる機関として教育センターがある。